

生き直し通信

熊本の高校生
向けに講和を
した際の写真



現在までに6名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

平成30年12月

発行：(一社)生き直し

会員数：23名

寄付支援者数：21名

自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。*平成29年4月時点で登録事業者数が375。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



刑務所出たらいい仕事あるから一緒にやろうぜ！



刑務作業や資格は無意味？

よく刑務所にいたら資格が取れるから出てきたときそれを使えばいいのでは？刑務作業でいいもの作っていたりするからそれを外に出て使えばいいじゃないか？といった質問がよくあります。

しかし刑務所で資格を取ったり刑務作業をしっかりとやるのはたった一つの理由のためだけ。それは、

「刑務官に気に入られるため」

刑務官に気に入られると、仮釈放（刑期満了前に出られる）をもらえるからという理由だけなそう。

なので、刑務作業や資格は全く意味のないものになっているのが現状。

このような工芸品を作る技術も外に出たら全くつかっていない。



悪い仲間しかできない

そんな感じで、刑務所内では刑務官に気に入られないとならず、そのためには、悪いやつとも仲良くなくてはならない。

結果、仲良くなり、出た後に頼る人もその悪い人だけになってしまう。

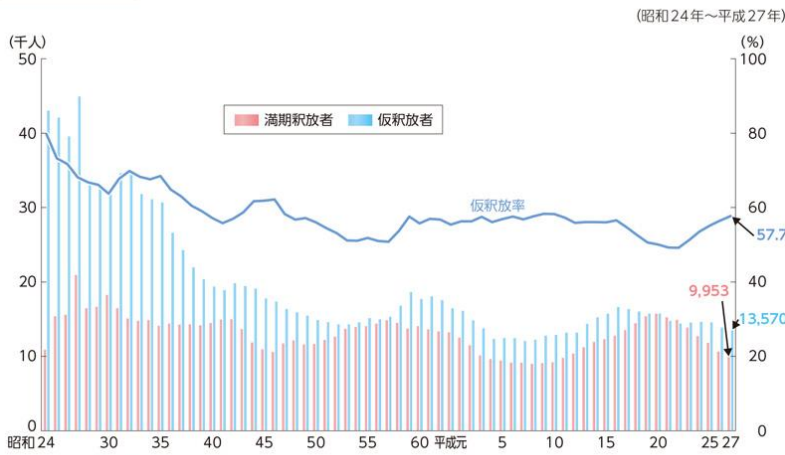
さらに場合によっては刑務所内を出たあとの犯罪に誘われることも多々あるそう。

刑務所は更生に適合しているのか？

今回はなぜ刑務所では更生することができないのか。そこに焦点をあてて、考察。正直、刑務所に行けば「反省」するのだから、もう二度と犯罪を犯さないと誓うのだから、いつか問題ないと思うのだろうか？

出所者の数：23,523人

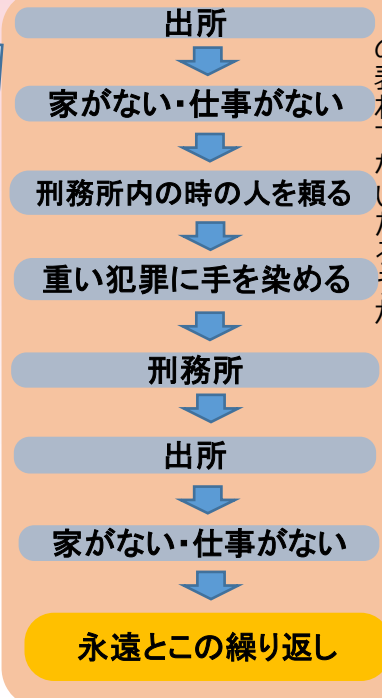
2-5-1-1 図 出所受刑者人員・仮釈放率の推移



注 1 行刑統計年報及び矯正統計年報による。
2 女性の満期釈放者及び仮釈放者の人員の推移等については、CD-ROM参照。

* 平成28年犯罪白書参考

家がない満期出所はよりループに陥りやすく出所人員の半数を占めているという現状。



○ 一度入ってしまったら抜け出せない？
一度でも刑務所に入ってしまったらまた犯罪を犯し刑務所に入ってしまうという無限ループがあるとされている。実際の再犯率も約5割であり、出てきた人の2人に1人が再犯をしているのがその表れでないだろうか。

生き直しでは上記のように出所して家や仕事がなく、無限に再犯を犯してしまう方々に住居の提供と就労支援を行っている！

現在までに6名の刑余者が！

7月3日のオープン以来、自立準備ホーム生き直しでは6名の刑余者の受け入れを行ってきました。現在2名が入居中。



受刑者専用語録2

出所者と話をするとたまによくわからない言語が飛びかうことがある。

生き直し通信²にて好評だったので、前回とは別の言語を紹介したいと思います。

「チンコロ」… 告げ口のこと。

「満期上等」… 仮釈がもらえず満期で出所することになっても構わないという者のこと。
中での成績など関係ないの
で無茶苦茶な奴が多い。

「アゴ、ペラ」… いわゆる私語のこと。

「ガテ」… 手紙のこと。

「娑婆（シャバ）」… 塀の外の世界のこと。

「ハト」… メモや伝言などを不正に連絡する者、またはその行為。

その他まだまだ、いろいろな語録があるので興味がある方は調べてみては？



連絡先の交換方法？

刑務所内でのやり取りや連絡先の交換は基本的に禁止とされており、書いたものもすべてチェックされる。

そこで、鉛筆で一度強く書いた上で消してうっすら残るようにして交換するなどの工夫をして交換しているとのこと。

紹介してほしい人

生き直し通信では自立準備ホームにどのように入居できるかを紹介はしましたが、

「実際にどのような人を紹介してほしいのかわからない。」

「協力できない。」

との声を頂くことが多かったので、改めて紹介してほしい人をお願いしたいと思います。

① 出所後六か月以内の家がない出所者

② 執行猶予・起訴猶予後家がない出所者

①②ともに保護観察所を経由した後、自立準備ホームに入居できる。

③ 刑務官等で特に分類審議室や処遇官の方

出所者に対して直接的にアプローチできるため。

④ 刑事事件を扱っている弁護士の先生

⑤ 生活保護の担当をされている方

駆け込み餃子で人材募集中！

○ 社会復帰には居酒屋

駆け込み餃子では現在29人の卒業者がおり、再犯率は10%を切っている。やはり飲食店でコミュニケーション能力を高めて卒業した出所者については社会復帰がしやすいという結果になっている。

何人かの方からお問い合わせがありましたが、今も駆け込み餃子さんとは付き合いがあり、今後も駆け込み餃子で働く人をアテンドしていきたいと考えております。

ぜひ飲食で働きたいと考えている出所者の方や引きこもりの方がいらっしゃればご連絡いただければ嬉しいです。

もちろん普通に飲食店で働きたいという方のご紹介もウエルカムです。
(笑)



刑務所向け求人誌『Chance!! Vol.4 冬号』

刑務所向けの求人誌『Chance!! Vol.4冬号』に自立準備ホーム生き直しのことを掲載させて頂くことに！

約1,500名の受刑者に向けて配布するので、そこから「生き直し」に来ていただければ！との思いと、満期出所だとどこにも行き場がないと考えている受刑者に向けて、自立準備ホームというものがあると知ってもらえるキッカケになればと。

もし掲載をしたいと考えている方は千葉までご連絡を。

Vol.4
2018 冬
12/1~2/30
日本全国、掲載紙大中
チャンス!!
「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援したい企業とを繋ぐ求人誌
社会復帰を応援!!
全社身元引受OK!!
全社寮完備!!
無期懲役も面接可能な企業多数!!
Chance!!に掲載の企業は、少年院・留置所・拘置所・刑務所内でも面接が可能です。お気軽にお問い合わせください。

「自立準備ホーム 生き直し」

どんな人でも生き直すことができるをモットーに
平成30年7月に東京多摩地区に自立準備ホーム 生き直しを開設。
おもに満期で行き場のない方の受け入れを行っております。

入居の流れ

- ① 前住所を出る
- ② 東京保護観察所(または立川保護観察所)に相談
- ③ 受け入れ

入居の条件

- ① 仕事をする
- ② 嘘をつかない
- ③ 性犯罪の発覚でないこと

満期になると、出た瞬間どうしていいかわからないことも多いかもしれませんが、もし家賃も払っていただける方という覚悟があれば、まずは保護観察所にご相談ください。

そのうえで、自立準備ホーム 生き直しに空きがあれば受け入れることが可能です。また家賃も払っていただける方についても、受け入れは可能ですが、その場合はご相談ください。

施設で大学にしていることは家のような環境を設けつつ、自立に向けて準備すること。

入居可能な期間：4か月程度(最大6か月)、寮室は3部屋あり、最大6名まで入居可能です(定員に達している場合は入れない場合があります)。シェアハウスのような暮らしをイメージしてもらえればわかりやすいと思います。

会社概要・ご連絡先

会社名	株式会社 生き直し
所在地	東京都 幸手 龍一
代表者	千葉 龍一
ご連絡先	TEL: 090-7404-1426 Mail: kinaoshi.rc@gmail.com

○自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。

- ① 賛助会員(寄付)
- ② お米や家に余っている食材等
- ③ 出所後6か月以内の出所者
- ④ 家(1Rでも可)

皆さまのご支援ご協力お待ちしております



生き直し 代表 千葉龍一

* 継続寄付を停止したい場合下記ご参照してくださいませ

継続寄付始めました！

自立準備ホーム生き直しでは、【Syncable】というサイトにて継続寄付をはじめました。

月500円から寄付もできますので、ぜひご支援ご協力賜れば幸いです。



◆寄付時にSyncableへの会員登録も行い、マイページを持っている場合

1. Syncableトップ (<https://syncable.biz/home>) 右上よりログインする
2. ログイン完了後、マイページを開く
3. マイページ左側メニューバーより寄付履歴をクリック
4. 寄付履歴上部に表示されている「継続支援中の団体」より解除したい継続寄付を選び右上の×ボタンを押す
5. 解除しますか？に対して「はい」をクリック
(PCからご覧頂いた場合を想定しております。スマートフォンからでもアクセスは可能ですが、操作が一部異なります。)

◆寄付時にSyncableへの会員登録をせず、マイページを持っていない場合

現在、会員登録をされていない場合、ご自身で継続寄付を取りやめる手続きを行うことは出来ない仕様となっております。
誠に申し訳ございませんが、Syncableサポート事務局 (support@syncable.biz) までお問い合わせ下さい。
なお、お問い合わせの際に下記の情報をお伝えいただけますと、スムーズにお手続きを進めることが可能です。

- お名前
- ご登録いただいているメールアドレス
- 支援先団体
- 寄付頻度
- 寄付金額